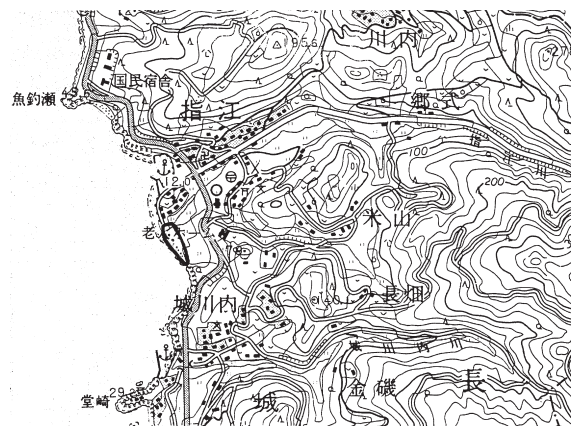


(出水郡長島町・東町)

### 位置と環境

長島は、県北西部と熊本県天草下島の上に位置し、東は八代海、西は東シナ海に面する面積約91km<sup>2</sup>、周囲約82kmの島である。海岸線は一般に複雑で、特に北西部はリアス式海岸を呈し、雲仙天草国立公園に指定されている。島内には指江古墳群・小浜崎古墳群・明神古墳群・温之浦古墳群・加世堂古墳（いずれも県指定史跡）などがあり「古墳の島」とも呼ばれている。

長島における古墳群の存在は、昭和37年1月、鹿児島県教育委員会委嘱による県下遺跡台帳作成のため、北薩地方を担当した池水寛治の分布調査によって、指江古墳群・小浜崎古墳群・明神古墳群が確認されたことに始まる。池水は、昭和37年、指江古墳群の発掘を手始めに、計画的に島内の古墳の調査を進めるにあたった。



第1図 指江古墳群の位置

### 指江古墳群

#### 位置と環境

古墳は長島の西海岸中央部に位置し、指江海岸に小丘陵をなしたばち状の長さ180mの防潮林内に百数十基が所在している。

#### 調査の経緯

昭和37年から38年にかけて三次にわたり、池水寛治によって発掘調査が行われた。調査された古墳は8基である。

### 遺構と遺物

長さ2m前後、幅0.6mの栗石積竪穴式石室墓で、横穴式石室墓の技法を簡略化したものと考えられる。副葬品は須恵器片と鉄刀のみである。

### 参考文献

池水寛治1964「指江古墳群」『鹿児島県文化財調査報告書』11鹿児島県教育委員会



第2図 小浜崎古墳群の位置

①小浜崎1号墳 ②小浜崎2号墳 ③白金崎古墳  
④鬼塚古墳 ⑤楽之平古墳 ⑥明神古墳群 ⑦明神下岡遺跡

### 小浜崎古墳群

#### 位置と環境

標高120mの東シナ海に面した舌状の丘陵で、先端部は海面との比高差20mで断崖となる。古墳はこの先端部より丘陵上に小浜崎2号墳・1号墳・白金崎古墳・鬼塚1～3号墳・楽之平古墳があり、これを総称して小浜崎古墳群という。

#### 調査の経緯

昭和37年に池水寛治によって発見され、昭和39年小浜崎1号墳・2号墳、昭和40年白金崎古墳・鬼塚古墳、昭和53年に鬼塚2・3号墳、楽之平古墳の調査が池水寛治と出水高校考古学部によって行われた。

### 遺構と遺物

#### 小浜崎1号墳

扁平割石と平石を小口積みにした竪穴式石室を有する5世紀の積石塚。石室は長さ2.4m、幅1.8m、床面は小礫混じりの粘土で固める。副葬品は鉄剣が出土している。

#### 小浜崎2号墳

自然丘陵上に作られた5世紀の円墳。石室は平石4枚による正方形で、2.0×1.95mを測る。石室を平石で区切り副室を作る。床面には板石を使用している。副葬品は、鉄剣・鉄斧・鉄鏃・碧玉製管玉が出土している。

#### 白金崎古墳

横穴式石室をもつ6世紀後半の積石塚である。石室は2.2×1.8mを測る。墳丘は主軸が7.3mである。床面は、石室内が小礫、入り口から羨門にかけて平石を用いている。副葬品は、鉄鏃・刀子・金環11・銀環7・勾玉7・管玉7・棗玉2・切子玉8・算盤玉7・小玉94・丸玉2・金銅製刀装具・須恵器（高坏・平瓶・坏・坏蓋・壺）などが出土した。

#### 鬼塚古墳

両袖式の横穴式石室をもつ径16mの6世紀後半の円墳である。石室は2.0×1.7mで、羨道は破壊しているが推定4.2mで、床面は平石を敷き詰めてある。

副葬品は、須恵器（瓶・坏蓋・坏・高坏）、刀子、鏢、鉄鏃、金環・銀環、管玉、切子玉、小玉等が出土した。

#### 参考文献

池水寛治1971「小浜崎古墳群」鹿児島考古5

池水寛治1972「白金崎・鬼塚古墳」鹿児島考古6

#### 明神古墳群

##### 位置と環境

古墳は、小浜崎古墳群の北側台地下部にあり、明神海岸に小丘陵をなしたばち状の長さ100mの防潮林内に30数基が所在する。

##### 調査の経緯

昭和47年に池水寛治によって6基の古墳が発掘調査された。

##### 遺構と遺物

1～5号は、栗石積みの横穴系竪穴式石室墓で、長さ2～3m、幅60～100cmを測る。6号は、奥壁92cm、側壁150cm、前壁120cmの横穴式石室墓である。遺物は鉄鏃・刀子・鉄刀・土師器埴・布痕土器等が出土し、3号墳からは径7.6cmの銅鏡が出土した。

#### 参考文献

牛ノ濱修1981「明神古墳群」『長島の古墳』

長島町教育委員会

#### 明神下岡遺跡

##### 位置と環境

遺跡は東シナ海に流れ込む小川の北側、海蝕崖の南面する崖上にあり、30基の石棺を確認した。

##### 調査の経緯

昭和59年に長島町教育委員会が発掘調査を行った。

##### 遺構と遺物

30基の石室の内10基の調査を行った。1号は出土須恵器より6世紀の竪穴式石室墓であるが、残りは地下式板石積石室墓の祖形と考えられる石棺である。石棺には2タイプ有り、弥生～古墳時代のものである。副葬品には、須恵器・鉄剣・鉄鏃などがみられる。

#### 参考文献

長島町教育委員会1986「明神下岡遺跡」『長島町埋蔵文化財発掘調査報告書』1長島町教育委員会

#### 温之浦古墳群

##### 位置と環境



第3図 温之浦古墳群の位置

古墳は天草下島に面して開口した入り江の北側斜面、海岸線より約20mの地点に点在する4基の古墳である。

##### 調査の経緯

昭和41年に池水寛治と出水高校考古学部によって発掘調査が行われた。

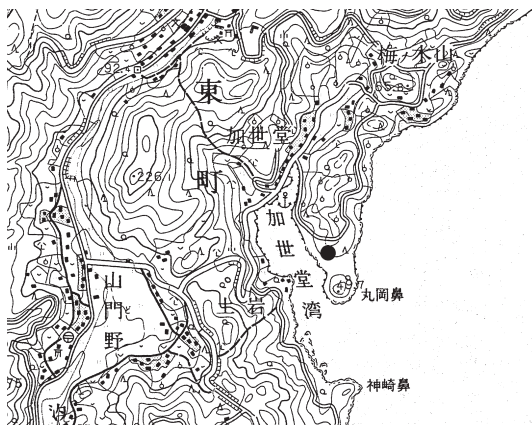
##### 遺構と遺物

3基調査が行われ、いずれも横穴式石室をもつ積石塚である。副葬品は金環・銀環・勾玉・丸玉・鉄鏃・須恵器（台付長頸瓶・埴）である。

#### 参考文献

出水高校考古学部1966「温之浦古墳群」『もぐら』

6出水高校考古学部



第4図 加世堂古墳の位置

### 加世堂古墳 位置と環境

古墳は黒ノ瀬戸を南東に望む半島丘陵台地斜面に所在する。

### 調査の経緯

昭和46年に池水寛治・出水高校考古学部が発掘調査を行った。

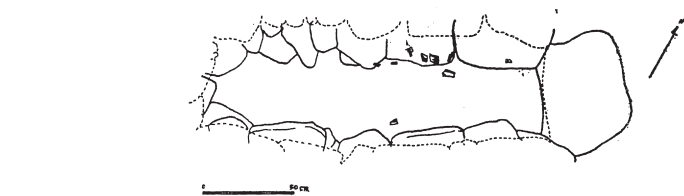
### 遺構と遺物

墳丘の形状は、円墳にテラスを設け、形式的な羨道のある裾部が削り取られている横穴式石室をもつ積石塚である。副葬品には須恵器片・鉄鏃・鉄刀がある。

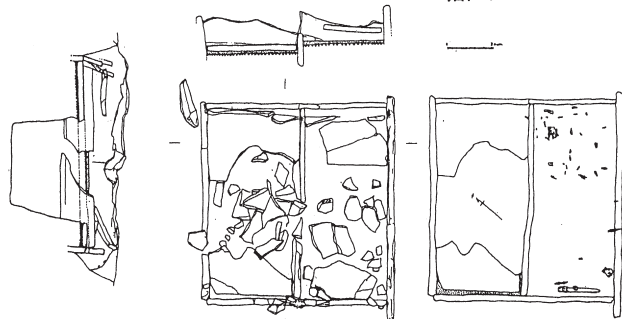
### 参考文献

長島町教育委員会1981「加世堂古墳」『長島の古墳』

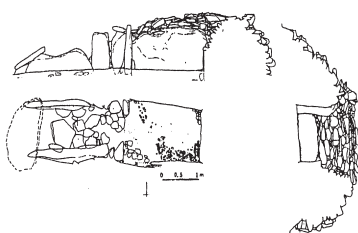
(牛ノ濱 修)



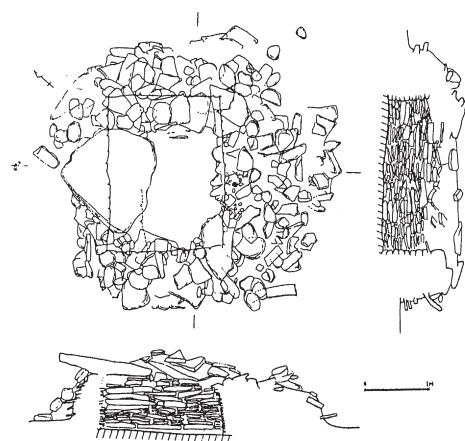
指江古墳



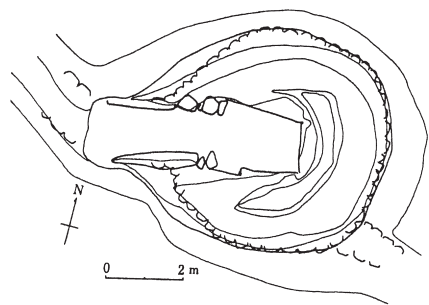
小浜崎2号墳



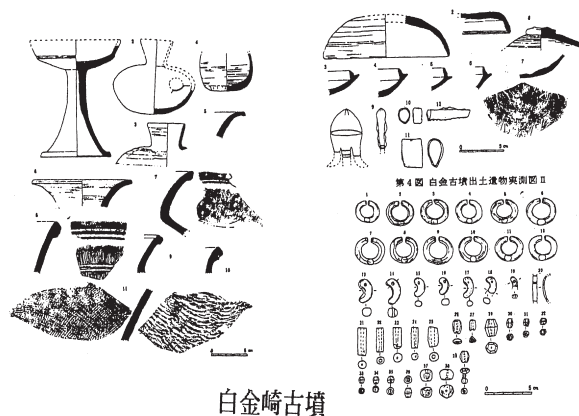
白金崎古墳



小浜崎1号墳



白金崎古墳

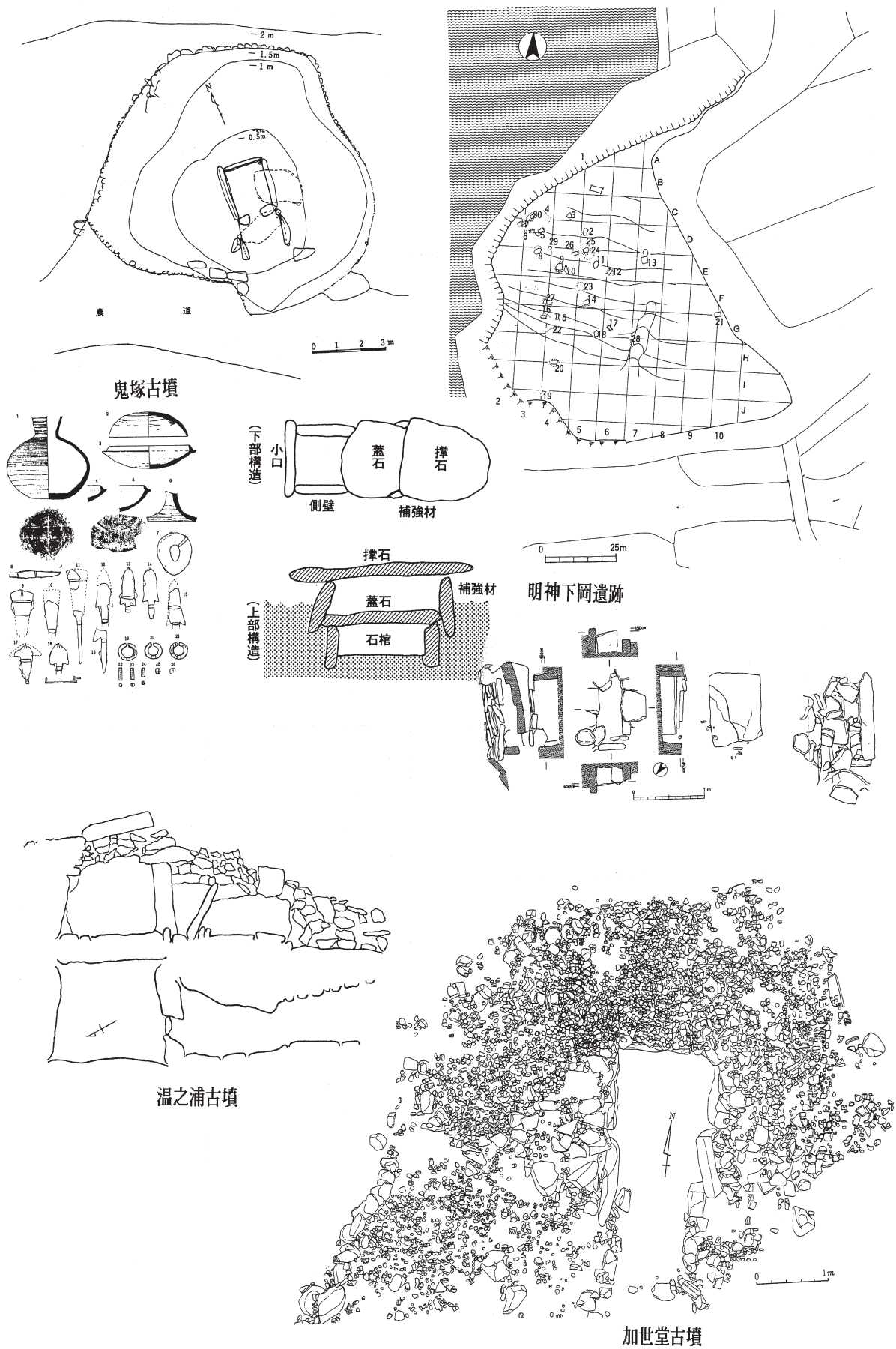


第4図 白金古墳出土遺物(1)

白金崎古墳

第5図 古墳及び出土遺物(1)





第 6 図 古墳及び出土遺物(2)